

貴志南っ子

7月

令和元年6月28日

「パクパク」

○6月の授業参観、学級懇談会では多数ご参加いただきありがとうございました。また、1年生の希望保護者対象の「給食試食会」へのご参加やその準備や運営をしていただいた担当育友会の皆様、ありがとうございました。アンケートでの「入学してからは『給食おいしい!!』と言い、『今日は何かな〜』と楽しみにしている」「『給食おいしかったよ』と言って帰ってくる」「給食の方がおいしいと子どもに言われる」等のコメントを知り、子どもたちの関心が「食」にも向いており、家庭で話題にのぼっていることをうれしく思いました。

○食育への関心が高まってきた平成17年に「食育基本法」が成立しました。そこでは単に「生命維持のために重要なもの」だけでなく「豊かな人間性を育む基礎となるもの」と謳われ、毎年6月の「食育推進月間」も定められました。

○本校では、ずいぶん前から地元の食材の「空豆」「うすいえんどう」「とうもろこし」などの皮むき体験に取り組んできました。また和歌山名産の「梅」「桃」「柿」を提供していただき、調理するなどもしています。5年生が毎年行っている田植え・稲刈り体験も含め、本校のすばらしい環境（自然・人）のおかげだとつくづく思います。



○「食」という漢字は、ごちそうを器に盛って、蓋をした形からできたそうです。「ごちそう」は「ご馳走」と書かれ、相手の心を満足させるために料理をふるまう人が食材の調達に駆け回り、もてなしたことからであるといえます。

○遠足などで、子どもたちが「お弁当」のふたを開ける前、どうしてあんなに楽しみ顔なのか、開けた瞬間どうしてあんなに笑顔なのかをあらためて考えてみました。家の人や、他の誰でもない自分のために時間をかけて準備し調理してくれたことを知っているからこそ無意識に顔が



ほころぶのでしょうか。そして、子どもがパクパクとほおぼって食事している姿を見ている我々大人は、その表情に子の生命を感じて幸せな気分させられます。

○私たちの食生活はこれからも時代と共に移り変わっていくことと思います。忙しい日々の中で家族がそろって食卓を囲むのが難しくなっても「食」が支える「心」の側面は受け継いでいきたいものです。この夏休み、少しでもそんな機会が増えることを願って…。《校長 犬塚 博志》



★貴志南小学校では、ホームページを設けています。<http://www.wakayama-wky.ed.jp/kishiminami/>

※写真等は児童個人を特定できないように配慮しています。